

## 「自由民主党ワンヘルス推進議員連盟」設立総会の開催

令和5年3月13日(月)、自由民主党本部7階にて、「自由民主党ワンヘルス推進議員連盟」設立総会が開催された。古賀 篤衆議院議員の司会により開会し、代表発起人である外務大臣 林 芳正衆議院議員及び武見敬三参議院議員から挨拶があった。続いて、会場に駆け付けた発起人である自由民主党副総裁 麻生太郎衆議院議員から挨拶があり、議事に入った。

まず、出席者が紹介された後、資料に基づき自由民主党ワンヘルス推進議員連盟規約(案)が示され、全会一致で承認された。役員人事については、発起人である松山政司参議院議員から、会長として林 芳正衆議院議員、会長代行として武見敬三参議院議員が推薦され、全会一致で承認された。その他の役員については、会長及び会長代行に一任された。

関係省庁からのワンヘルス対応状況説明として、厚生労働省、農林水産省、環境省から説明があり、関係団体からの挨拶として、日本医師会松本吉郎会長、日本獣医師会 藏内勇夫会長から、特別ゲストとして日本医師会 横倉義武名誉会長からの挨拶があった。その後、日本獣医師連盟 境 政人委員長代行から要請内容について説明を行い、意見交換の後、閉会となった。

藏内会長の挨拶の概要は以下のとおり。

「本日は、麻生先生、林先生、武見先生、そして古賀先生はじめ、たくさんの自民党の国会議員の先生方に、ワンヘルス推進議員連盟を設立いただきました。大変心強く、心から感謝を申し上げる次第です。本当にありがとうございます。ただいま日本医師会の松本会長からご挨拶がございましたように、われわれは2013年に両団体で学術協定を結び、その後、厚生労働省と一体となって、このワンヘルスの実践に取り組んでまいりました。ワンヘルスの大きな柱は、感染症対策、AMR、薬剤耐性菌対策です。申し上げるまでもなく、このワンヘルスというのは、現下のCOVID-19等の特効薬ではありません。ウイルス由来の感染症等は生物によって起因する自然災害の一種であると考えられます。災害ですから、台風と同様に備えが必要であり、その備えを行うというのがワンヘルスの原点です。これまでの活動によりいろいろな課題が浮き彫りになり、やはり国会あるいは国の役所に論議をいただき、整理をしていただきたい課題が明らかになってまいりました。本日、皆さま方にワンヘルスの課題について要請できるということは、われわれにとって大変ありがたいことだと思っております。本日は誠にありがとうございます。」



図1 挨拶する林 芳正外務大臣



図2 挨拶する武見敬三参議院議員



図3 挨拶する麻生太郎自由民主党副総裁



図4 満場の国会議員を前に挨拶する藏内会長